

日本作物学会第 261 回講演会プログラム

会 期：2026 年 3 月 28 日（土）～ 3 月 29 日（日）

会 場：高崎健康福祉大学

〒 370-0033 群馬県高崎市中大類町 37-1

事務局：〒 370-0033 群馬県高崎市中大類町 54

高崎健康福祉大学農学部作物学研究室内

日本作物学会第 261 回講演会運営委員会事務局

プログラム一覧

月日	時刻	第 1 会場 212 講義室	第 2 会場 213 講義室	第 3 会場 206 講義室	第 4 会場 210 講義室	第 5 会場 211 講義室
3 月 28 日 (土)	8:30	受付・試写				
	9:00	リモートセンシング・モデリング 1～12	光合成・呼吸・物質生産／遺伝子・ゲノム解析 18～29	栽培 35～46	栽培 60～71	環境ストレス 85～96
	12:22	休憩				
	13:20	総会・授賞式 101 講義室				
	14:20	特別シンポジウム 101 講義室				
	14:30					
	17:00	懇親会 ホテルメトロポリタン高崎				
	18:30					
	20:30					
月日	時刻	第 1 会場 212 講義室	第 2 会場 213 講義室	第 3 会場 206 講義室	第 4 会場 210 講義室	第 5 会場 211 講義室
3 月 29 日 (日)	8:30	受付・試写				
	9:00	ミニシンポジウム 1	ミニシンポジウム 2	栽培 47～55	栽培 72～80	栽培／ 環境ストレス 97～105
	11:31	ポスターセッション（奇数番号） 第 1 体育館				
	11:40					
	12:25	休憩				
	13:15	ポスターセッション（偶数番号） 第 1 体育館				
	14:00					
	14:10	品質／組織培養・細胞工学 13～17	形態 30～34	栽培 56～59	栽培 81～84	発芽・発育 106～109
	15:33					
15:40						
17:40	小集会					

前の講演の終了後、約 2 分間の準備時間を取りますので、その間にプロジェクタとコンピュータの接続を行ってください。

1. 受付

1号館 (1階)

2. 一般講演

日時：3月28日(土) 9:00～12:22

3月29日(日) 9:00～11:31, 14:10～15:33

第1会場：212 講義室 (2号館2階)

第2会場：213 講義室 (2号館2階)

第3会場：206 講義室 (1号館2階)

第4会場：210 講義室 (1号館2階)

第5会場：211 講義室 (1号館2階)

試写室：103 講義室 (3号館1階)

講演時間：講演12分, 質疑応答3分

- 1) 一般講演は「コンピュータ」による発表のみです。プロジェクトに接続して使用するコンピュータは、発表者ご自身でご用意ください。
- 2) プロジェクトとコンピュータの接続端子は HDMI と VGA (ミニ D-sub 15pin) とのみで接続します。運営委員会側にコネクタの用意はありませんので、ご自身のコンピュータにコネクタが必要な場合は各自で持参してください。
- 3) コンピュータの操作は発表者自身で行うか、他の参加者に依頼してください。
- 4) 発表者は、ご自身の発表の2講演前には演台近くに着席してください。
- 5) 前の講演の終了後、約2分間の準備時間を取りますので、その間にプロジェクトとコンピュータの接続を行ってください。

3. ポスターセッション

日時：3月29日(日) 11:40～12:25 (奇数番号のポスター)

3月29日(日) 13:15～14:00 (偶数番号のポスター)

会場：第1体育館 (3号館2階)

- 1) 展示用パネルの大きさは横90cm×縦180cmのパネル1枚です。なお、左上の20cm×20cmの部分はポスターの発表番号を掲示するスペースとなります。
- 2) ポスターは、発表の1時間前までに取り付けてください。また、講演会2日目の14:30までに取り外してください。
- 3) 発表者は発表時間にポスターの前に待機して説明してください。なお、座長が発表を確認します。

4. 総会・授賞式

日時：2026年3月28日(金) 13:20～14:20

会場：101 講義室 (3号館1階)

1) 日本作物学会賞

農家圃場における作物生産性評価に関する情報収集・解析方法の開発
本間香貴 (東北大学大学院農学研究科)

2) 日本作物学会研究奨励賞

穂肥重点施肥による暖地向けコムギの高品質・多収栽培技術
水田圭祐 (香川大学農学部)
寒冷地における乾田直播水稻の収量制限要因と持続的生産に向けた課題の解析
浪川茉莉 (農研機構東北農業研究センター)
ダイズ青立ちの発生要因と新品種の多収要因の解明
山崎諒 (農研機構作物研究部門)

5. 特別シンポジウム

日時：3月28日(日) 14:30～17:00

会場：101 講義室 (3号館1階)・オンライン (ハイブリッド開催)

テーマ：気候変動を食い止める農業生産技術—今、我々に何かができるか—

主催：日本学術会議農学委員会農学分科会

共催：(一社)日本作物学会, (一社)園芸学会

後援：日本農学アカデミー

総合司会：彦坂晶子 (日本学術会議連携会員/千葉大学大学院園芸学研究院教授)

- 1) シンポジウムの開催にあたって (主催者代表挨拶)
土井元章 (日本学術会議第二部会員/京都大学名誉教授)
- 2) 農業生産の持続可能性の課題と気候変動
本間香貴 (日本学術会議連携会員/東北大学大学院農学研究科教授)
- 3) 水田における窒素および炭素動態とその制御—カバークロープを利用したメタン排出量削減—
浅木直美 (愛媛大学大学院農学研究科准教授)
- 4) 環境変化と土壌・根圏微生物相互作用
竹下典男 (筑波大学生命環境系准教授)
- 5) 気候変動に伴う野菜生産の作型適応
山崎篤 (高崎健康福祉大学農学部教授)
- 6) 農業生産におけるカーボンクレジット
西田智子 (日本学術会議連携会員/(国研)農研機構理事)
- 7) シンポジウム総括
下野裕之 (日本学術会議連携会員/岩手大学農学部教授)

6. ミニシンポジウム

- (1) Challenges to Africa's Green Revolution through R&D on Sustainable Rice Production

日時：3月29日(日) 9:00～11:30

会場：212 講義室 (2号館2階, 一般講演第1会場)

代表：坂上潤一 (鹿児島大学農学部・海外交流推進委員会)

- 1) IRRI's 65 years: Feeding the world through science and innovations
Virender Kumar* (International Rice Research Institute (IRRI))
- 2) Green Revolution in South Asia: Lessons for rice development in Africa
Sudhanshu Singh*, Eazhilkrishna N, Sunil Kumar, Virender Kumar Yadav (International Rice Research Institute South Asia Regional Centre, India)
- 3) Nutrient management strategies for rice production under Unfavorable Environments in Africa
Hidetoshi Asai* (Japan International Research Center for Agricultural Sciences)
- 4) Effects of varying light intensity and iron toxicity on interspecific hybrid progeny of rice (*Oryza sativa* × *O. glaberrima*)
Rael CHEPKOECH^{1D}, Tamu ALEX^{1D}, Aquilino Lad Legge WANI^{1D}, Isao AKAGI², Jun-Ichi SAKAGAMI² (¹The United Graduate School of Agricultural Science, Kagoshima University, ²Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 5) Development and Dissemination of Climate-Smart Rice (CSR) Model in Africa
Akio Goto* (Faeger Co. Ltd.)

- (2) 作物生産における種子科学のススメ～環境ストレスメモリーによる作物栽培技術革新～

日時：3月29日(日) 9:00～11:30

会場：213 講義室 (2号館2階, 一般講演第2会場)

代表：石橋勇志 (九州大学大学院農学研究院)

- 1) 陸稲栽培への種子ハイドロプライミング技術の実装
中尾祥宏^{*1,2} (¹鹿児島大学大学院連合農学研究科, ²農研機構中日本農業研究センター)
- 2) ストレスメモリーを活用した, 環境ストレス耐性を強化する栽培技術および種子生産手法の開発
辻渉* (鳥取大学農学部)
- 3) 作物の登熟環境による種子内エピゲノム制御を介した戦略的な後代成長
Suriyasak Chetphilin, 石橋勇志* (九州大学大学院農学研究院)

4) 低温プラズマ技術の農業生産への活用に向けた取り組み

江原宏^{*1,2}, 仲田(狩野)麻奈¹, 谷口光隆², Ahyuni Destieka^{1PD}, 杉浦史都^{2M}, 黒澤生吹^{2M}, 深澤満理奈^{2M}, 中川万由子^{2M}, 井上健一³, 橋爪博司³, 山川太嗣^{5D}, 田中宏昌³, 石川健治³, 石橋勇志⁴, 新田洋司⁶, 二瓶直登⁶, 菅波真央⁶ (1名古屋大学農学国際教育研究センター, 2名古屋大学大学院生命農学研究科, 3名古屋大学低温プラズマ科学研究センター, 4九州大学大学院農学研究院, 5名古屋大大学院工学研究科, 6福島大学食農学類)

7. 小集会

日時：3月29日(日) 15:40～17:40

会場：211 講義室 (1号館2階, 一般講演第5会場)

発起人：古賀美羽 (北海道大学大学院農学院)
檜山魁士 (北海道大学大学院農学院)
松村悠生 (北海道大学大学院農学院)
松井俊樹 (酪農学園大学大学院酪農学研究科)
佐々木洋平 (日本大学大学院生物資源科学研究科)
細沼航平 (東北大学大学院農学研究科)

課題名：若手の会企画による小集会 (37) 「目指せ億万長者！ コメの先物取引を作物学で攻略しよう！」

内容：最近、コメ価格の高騰が社会問題となっている。コメ価格の決定には、在庫状況や政策などの人為的な要因だけでなく、気象条件などの自然的要因が複雑に絡み合っている。コメ価格について作物学的視点から議論することは、自身の研究が単なる技術開発にとどまらず食糧の安定供給という社会的な価値に直結していることを再認識する機会である。そこで本会では、コメの先物取引価格の予測、評価について参加者の専門分野をもとに議論する。先物取引に注目した理由は2つある。コメの先物取引は、2024年に上場したが、SBI証券の「堂島米平均(米穀指数)」などで一般の人でも取引することができ、現物価格に比べて透明性が高い。また先物取引価格は現物価格に比べて、社会情勢や気象条件への感度が高く、現物価格に比べて議論しやすいと考えた。なお、本会は投機的な売買手法の議論を行う場ではなく、作物生産と価格形成の関係を理解することを目的とする。

プログラム

1. コメの先物取引についての講演 (講演者：発起人)
2. 作物学とのかかわりについての講演 (講演者：発起人)
3. グループワーク (参加者の専門分野を生かした価格予想について)

8. 懇親会

日時：3月28日(土) 18:30～20:30

会場：ホテルメトロポリタン高崎 (JR 高崎駅西口直結)

9. 講演会参加費

会員区分	参加費	懇親会費
一般	9,500円 (不課税)	8,500円 (税込)
学生	6,500円 (不課税)	6,000円 (税込)
非会員	12,000円 (税込)	10,000円 (税込)

講演要旨集 (冊子)：2,000円 (税込)

弁当 (1食)：750円 (税込)

10. 各種委員会

1) 英文誌編集委員会

日 時：3月28日（土）12：25～13：20

場 所：202 講義室（1号館2階）

2) 海外交流推進委員会

日 時：3月28日（土）12：25～13：20

場 所：203 講義室（1号館2階）

3) 日本学術会議農学委員会農学分科会

日 時：3月28日（土）12：30～14：30

場 所：204 講義室（1号館2階）

4) 出版部

日 時：3月29日（日）11：25～11：55

場 所：203 講義室（1号館2階）

5) 和文誌編集委員会

日 時：3月29日（日）12：25～13：15

場 所：202 講義室（1号館2階）

6) ダイバーシティ委員会

日 時：3月29日（日）12：25～13：15

場 所：203 講義室（1号館2階）

7) 講演会企画委員会

日 時：3月29日（日）12：25～13：15

場 所：204 講義室（1号館2階）

11. 講演会期間中の昼食・売店等について

会場の食堂と購買は講演会期間中営業しておらず、キャンパス近隣にも十分な数の飲食店がありません。飲み物の自動販売機はございますが、数に限りがございます。ご注意ください。

なお、参加登録の際に申し込みをされた方のお弁当の引き渡しは、1階受付にて行います。参加証を確認しますので、ご提示ください。

12. Wi-Fi および PC・タブレット等充電場所の提供について

本講演会では学内の Wi-Fi および eduroam が利用可能です。学内の Wi-Fi につきましては、当日会場にてご案内します。eduroam をご利用の際は、事前にアカウント発行をお願いいたします。

PDF ファイルの要旨閲覧に利用する PC・タブレット等につきましては、事前に充電していただきますようお願いいたします。なお、充電スペースを会員控室②（205 講義室, 2号館2階）、クローク（103 講義室, 3号館1階）に用意しているほか、コンセントが一般講演第1会場（212 講義室）の各座席と一般講演各会場の後部（少数）にあります。

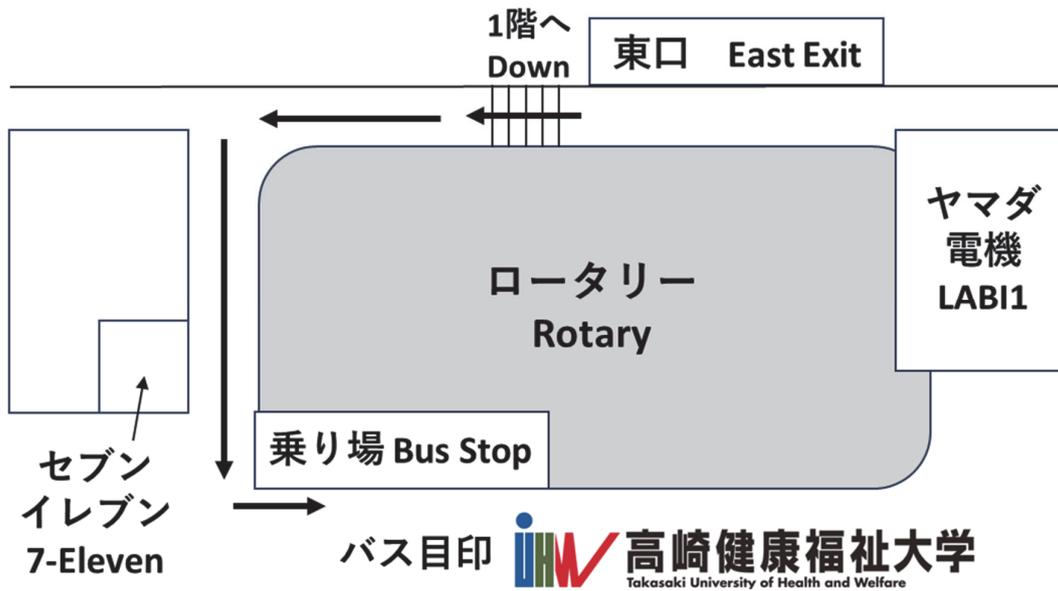
13. 会場アクセス

交 通：JR 高崎駅下車，バス 20 分。

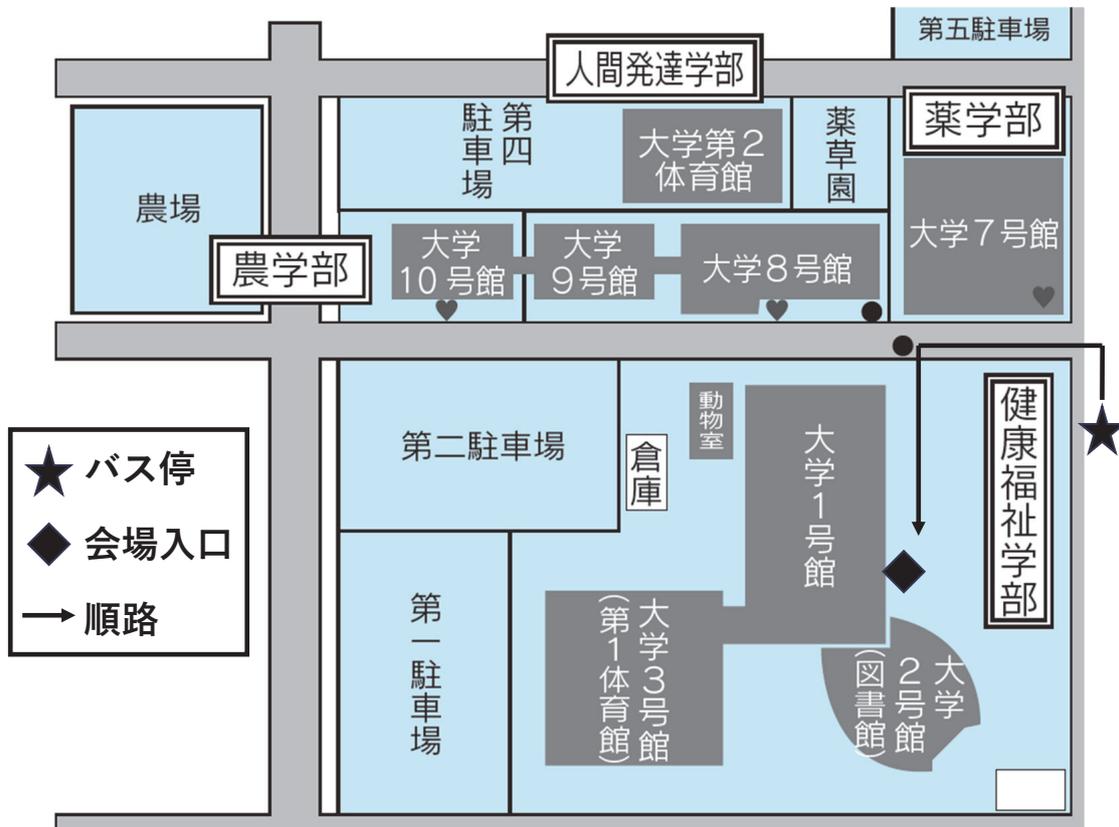
JR 高崎駅東口からスクールバスを運行します。運行ダイヤは参加証の QR コード，または講演会ホームページ（<https://cropscience.jp/event/meeting/meeting261/>）からご覧ください。

加えて、本数は少ないですが、JR 高崎駅東口から市内循環バス「ぐるりん」（「高崎健康福祉大学」下車，徒歩 5 分）が、JR 高崎駅西口から群馬中央バス高崎駅一県立女子大線（「矢中町入口」下車，徒歩 10 分）が運行されています。

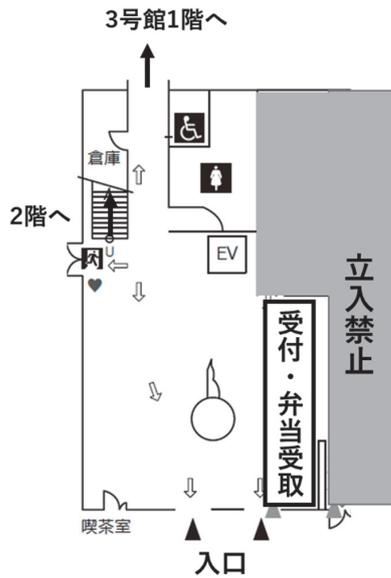
【会場最寄駅（JR 高崎駅東口）からスクールバスまでの経路】



【キャンパスマップ】



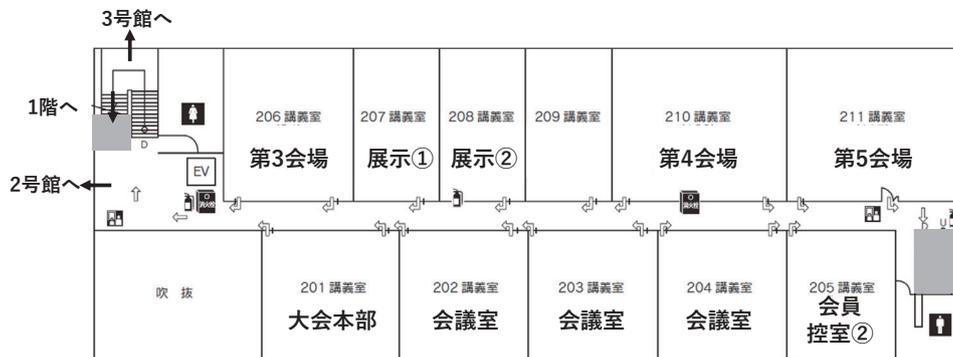
【1号館1階（受付）】



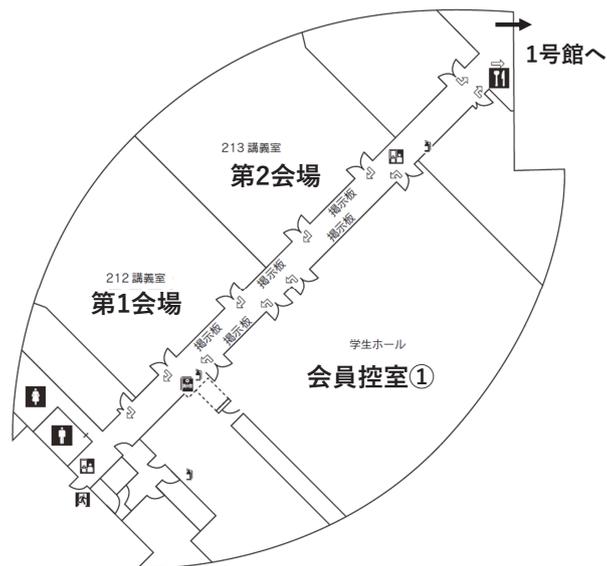
会期中の主要会場（すべて連絡通路で直結）

- ◎ 1号館1階
受付・弁当受取
- ◎ 1号館2階・2号館2階
一般講演（口頭），企業展示，控室等
- ◎ 3号館1階
総会・授賞式，特別シンポジウム，クローク・試
写室
- ◎ 3号館2階
一般講演（ポスター）

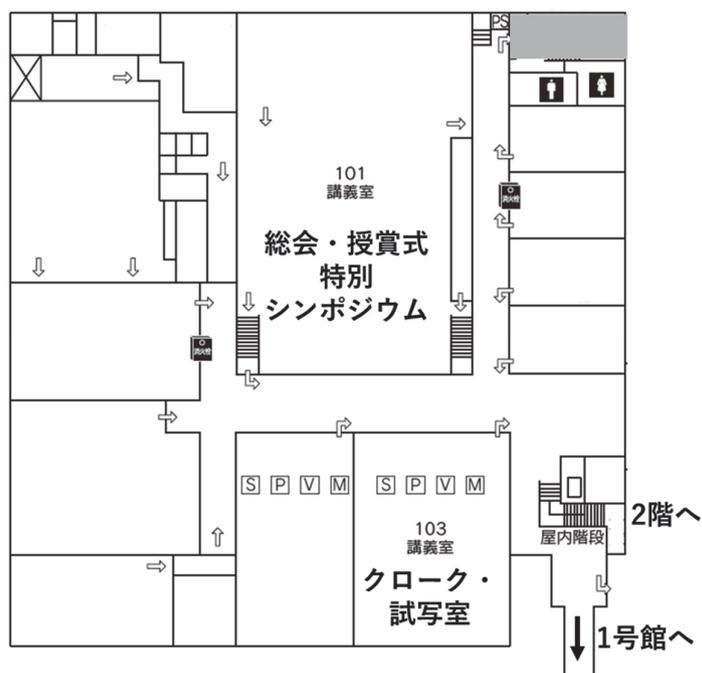
【1号館2階（第3・4・5会場，展示，会議室，会員控室②，大会本部）】



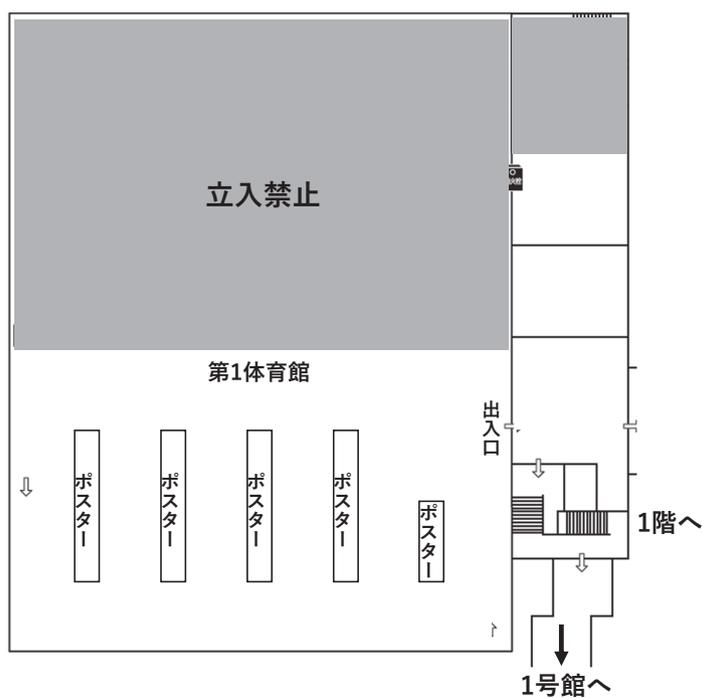
【2号館2階（第1・2会場，会員控室①）】



【3号館1階（総会・授賞式，特別シンポジウム，クローク・試写室）】



【3号館2階（ポスター）】



【群馬県の観光案内】

心にググッと観光ぐんま（群馬県観光公式サイト、<https://gunma-kanko.jp/>）をご参照ください。こちらのQRコードからもアクセスできます。



日本作物学会第 261 回講演会運営委員会

運営委員長：岡部繭子（高崎健康福祉大学）

事務局長：橋田庸一（高崎健康福祉大学）

運営委員：廣瀬竜郎・倉澤政則（高崎健康福祉大学）

大澤 実・新井友輔・赤石和也（群馬県農業技術センター）

青木直大・鴨下顕彦・加藤洋一郎・矢守 航・森田隆太郎・若林 侑・千装公樹（東京大学）

磯部勝孝・肥後昌男（日本大学）

事務局：〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 54

高崎健康福祉大学農学部作物学研究室内

E-mail: cssj261@gmail.com

第 261 回講演会ホームページ：<https://cropscience.jp/event/meeting/meeting261/>

本誌に掲載された論文などの著作権は、日本作物学会が所有しています。

学会ホームページ：<https://cropscience.jp>